

みんなボランティア 167号 ティア

新しい発見・出会いの場を創造するボランティア情報誌

発行：宝塚社協ボランティア活動センター

「宝塚 23 万人の防災キャンプ 2017 夏」

～みんなで防災を考えた 1泊2日～ ～シリーズ③災害時を考える～

このキャンプは、宝塚商工会議所青年部、宝塚青年会議所、FM 宝塚、コープこうべ第一地区活動本部、こむ1会、宝塚市総合防災課、社協ボランティア活動センターが協働で実行委員会を立ち上げ実施しました。

宝塚市民が愛着を持ち続けられる“我がまち宝塚”となることを目指して、(宝塚まつりも花火大会もなくなってしまった)宝塚の新風景としての防災キャンプが市内各地域で繰り広げられる将来を夢見て、市内商工事業者若手メンバーからの発意を受けての連携でした。発想力、機動力、本番力、支援力 etc...それぞれの団体の強みを生かし弱みを補う実践でした。防災の要は日頃の“つながり”と言われていますが、実行委員会メンバーのつながりも確かとなったキャンプでした。(ドロン)



1人当たり2Lの飲料水配布。
「しっかり名前を書いておかないとっや！」

いざというときにができる?

2017年
9月9日(土)
10日(日)
一泊二日です!

宝塚23万人の 防災キャンプ 2017夏

宿泊体験キャンプで防災のことを知ろう、考えよう

挑戦! 100杯分の
カレーライス!
100杯分ってどれくらい?

遊ぶ 学ぶ
あそび!
スイカの種飛ばし
防災YES-NOクイズ
伝言ゲーム
など

みんなで生き残り!
サバイバル運動会
防災ドリル競争
レスキューレー

おいしい非常食
クッキング
蒸しパン、おいしくでき
ました。新聞のお皿に盛り付け~?!

これで炊けるの?
びっくりごはん

あなたが創る
2日間!
友だち何人
できるかな?



最初の班活動は呼んでほしい名前前で名札づくり。「班の名前は どうする〜?」



100人分のカレーは防災釜で。焦げないよう、まんべんなく溶けるよう、絶妙のチームワークで。



初めてのスイカ割り? 初めてのスイカの種飛ばし? 優勝はJVBたちでした。



自分の寝床は自分で確保? いやいや、段ボールベッドは必要な方のために。



非常食クッキング。蒸しパン、おいしくできました。新聞のお皿に盛り付け~?!



サバイバル運動会前の休むくし。寝ぼけた体を起こしてエンジンをかけます。



ベッドじゃないよ、担架だよ。竹竿と毛布で作ります。



名残り惜しんで何度も撮った、記念の集合写真♡

〈誰もが安心して過ごせる避難所をめざして 2017〉

第1部 シンポジウム 私たちから見た災害 ～その時聴覚障がい者は～

第2部 交流会 みんなの声を聞いてみよう

コーディネーター 中田智恵海先生 (ひょうごセルフヘルプ支援センター代表)

後藤至功先生 (佛教大学福祉教育開発センター専任講師)

日時: 12月2日(土) 13:00~16:00 場所: ぷらざこむ1 3F フリールーム

対象: どなたでも 費用: 無料 定員: なし

問合せ: 宝塚社協ボランティア活動センター

主催: 宝塚広域ボランティア連絡委員会